

01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
1 駅周辺・市街地の整備	B	<p>駅舎の橋上化及び東西自由通路の整備工事が完了し、駅の利便性向上が図られた結果、市民満足度が向上しました。</p> <p>東口を利用する人数が増えた結果、歩行者通行量が大幅に増加し、また西口駅前広場の混雑もやや解消されました。</p> <p>駅舎工事が予定通り完了したため、西口駅前広場とBRT駅前広場の工事を順次進めていきます。</p>	<p>更なる賑わいづくりのため、駅東側の鹿島鉄道跡地等を利用した面的な整備を進める必要があります。</p>
2 公共交通機関の充実	B	<p>少子高齢化により、地域公共交通の重要性が見直され、重要性が増すなか、乗合いタクシー運行事業や代替バス運行事業に補助をすることにより、移動制約者等の移動手段が確保できています。</p>	<p>様々な取組みを進めることで、移動制約者等の移動手段を確保していますが、今後も効率的な事業展開と利用促進活動を進める必要があります。平成28年9月から空港バス発着広場が供用開始となり、利便性の向上が図られました。</p>
3 道路の整備	B	<p>幹線道路の整備については、既に完了した1路線を除く5路線について、現在用地買収及び改良工事が進められています。また、地方道路の整備についても、事業計画に基づき、効率的かつ効果的に事業を進めております。</p> <p>既存道路の改良・拡幅整備については、必要性・緊急性の高い箇所を適宜見極めながら、待避所整備を進めており、市内の狭あい道路における交通の安全性確保に向けて、限られた予算の中で効率的な事業を行っています。</p>	<p>道路の整備については、国や県の補助金等を活用し早期完成を目指すとともに、既存道路の改良・拡幅については、優先されるべき必要箇所を見極めながら、効率的かつ効果的な事業を推進していきます。</p>
4 計画的な土地利用の推進	B	<p>現行の都市計画マスタープランに示された事業は概ね達成・実施されているほか、現在事業中のものもあります。</p> <p>地籍調査事業においては、年次計画どおりに実施し完了しています。</p>	<p>平成28年度に策定する都市計画マスタープランにおいて当市のまちづくりの目標を定めてまいります。また、効率的な土地利用に努めてまいります。</p>
5 下水道の整備	B	<p>生活排水ベストプラン(平成27年12月策定)に基づき、下水道の効率的な整備を進めています。また、下水道施設長寿命化計画(平成24年5月策定)に基づき、計画的に施設機器類の老朽化対策(改築更新)を進めています。</p>	<p>今後も引き続き、各計画に基づき、下水道の効率的な整備及び計画的な老朽化対策を進めていきます。</p>

01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
6公園・緑地の整備	B	<p>平成26年度に比べ平成27、28年度の満足度調査が減となっています。これは平成26年度に遊具更新を実施したことにより利用者の満足度が上がったことによるものと思われます。現在は、工作物などの長寿命化を年次計画により実施しております。</p>	<p>公園の長寿命化については年次スケジュールに基づき計画的に実施してまいります。里親やエンゼルパトロールについては引続き募集を募り、公園の維持管理や防犯に努めてまいります。</p>
7住宅の整備	B	<p>市内の市営住宅は平成21年度に策定した長寿命化計画に基づき、現在まで計画的な改善事業が進められています。</p> <p>また、高齢者世帯や子育て世帯等、配慮すべき世帯の住居の安定のため、交通利便性の高い石岡駅周辺の中心市街地に存する民間住宅を活用した家賃減額補助事業は、現在までに対象物件入居率は6～7割前後で推移しています。</p>	<p>市民が快適に安心して暮らせるためには、住宅の計画的な長寿命化や、民間住宅の効率的な活用等を通じて、暮らしやすい環境を整備することが重要であることから、今後も引き続き計画的な住宅施策を推進します。</p>
8地域に調和した景観の整備	B	<p>開発許可案件における完了検査率及び建築パトロールの実施件数は、いずれも現状で目標値を上回っていることから、無秩序な宅地化や違反建築の防止に高い成果を得ており、市内における適正な土地利用については秩序ある良好な景観の保全に一定の成果を得ているといえます。</p>	<p>目標に対する高い達成水準を維持するためには、適切な行政指導と地道な啓発活動を必要とすることから、引き続き計画的な事業実施に努めます。</p>

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	01 駅周辺・市街地の整備
具体的取り組み例	石岡駅舎の橋上化，駅周辺のバリアフリー化

1 総括評価

B	評価コメント
	駅舎の橋上化及び東西自由通路の整備工事が完了し，駅の利便性向上が図られた結果，市民満足度が向上しました。 東口を利用する人数が増えた結果，歩行者通行量が大幅に増加し，また西口駅前広場の混雑もやや解消されました。 駅舎工事が予定通り完了したため，西口駅前広場とBRT駅前広場の工事を順次進めていきます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	更なる賑わいづくりのため，駅東側の鹿島鉄道跡地等を利用した面的な整備を進める必要があります。

2 主要事業の概要

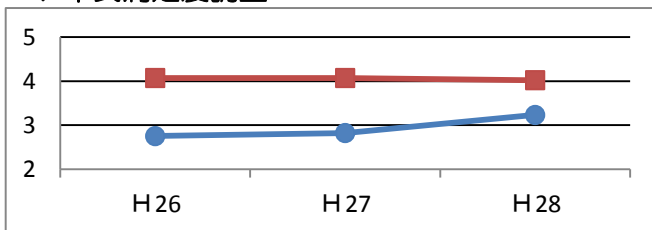
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
駐車場会計（総括） 【都市計画課】	交通機能とリンクした施設であり，著しく利用率が増減するものではないと思われます。駐車場マスなどの拡大も視野に入れながら，利用しやすい駐車場運営に努めていきます。
石岡駅周辺整備事業 【都市計画課】	平成28年度末の完了に向け，西口駅前広場やBRT専用道など駅周辺の整備を進めていきます。
駅周辺整備基金費 【都市計画課】	基金については段階的に取り崩し，事業費に充てていく計画であります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
中心市街地の居住者人口	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された数値目標	人	4,850 (H21)	4,880	4,360
交通バリアフリー（特定旅客施設）整備率	駅舎，自由通路のバリアフリー化率	%	20.0 (H22)	40	63
東西自由通路の歩行者通行量	東西自由通路の歩行者数	人	1,459 (H22)	1,750	2,765
市営駐車場利用率	一日平均利用台数	%	69.1 (H24)	70	71

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.75	4.07
平成27年度調査	2.82	4.07
平成28年度調査	3.23	4.02

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	02公共交通機関の充実
具体的取り組み例	乗合タクシーの運行，路線バスの運行補助，バス専用道路の整備促進

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	<p>少子高齢化により，地域公共交通の重要性が見直され，重要性が増すなか，乗合いタクシー運行事業や代替バス運行事業に補助をすることにより，移動制約者等の移動手段が確保できています。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>様々な取組みを進めることで，移動制約者等の移動手段を確保していますが，今後も効率的な事業展開と利用促進活動を進める必要があります。平成28年9月から空港バス発着広場が供用開始となり，利便性の向上が図られました。</p>

2 主要事業の概要

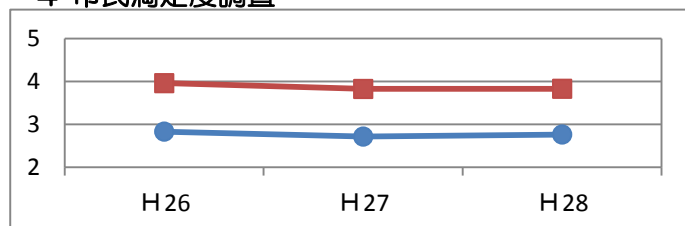
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
地域交通対策事業【政策企画課】	移動手段等を確保するとともに，今後も効率的な事業展開と利用促進活動を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
市内主要公共交通機関利用者数	1日当りの市内主要公共交通機関利用者数	人/日	7,954 (H24)	8,000	7,796

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.83	3.96
平成27年度調査	2.72	3.83
平成28年度調査	2.76	3.83

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	O3道路の整備
具体的取り組み例	道路の改良，拡幅整備，維持管理，補修

1 総括評価

B	評価コメント
	<p>幹線道路の整備については、既に完了した1路線を除く5路線について、現在用地買収及び改良工事が進められています。また、地方道路の整備についても、事業計画に基づき、効率的かつ効果的に事業を進めております。</p> <p>既存道路の改良・拡幅整備については、必要性・緊急性の高い箇所を適宜見極めながら、待避所整備を進めており、市内の狭あい道路における交通の安全性確保に向けて、限られた予算の中で効率的な事業を行っています。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>道路の整備については、国や県の補助金等を活用し早期完成を目指すとともに、既存道路の改良・拡幅については、優先されるべき必要箇所を見極めながら、効率的かつ効果的な事業を推進していきます。</p>

2 主要事業の概要

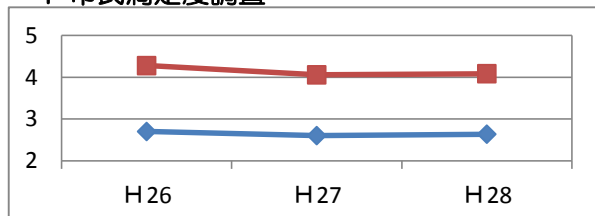
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
合併市町村幹線道路緊急整備支援事業【都市計画課】	現在、八郷新治線（朝日トンネル）1路線が完了し、他5路線についても用地買収及び改良工事を進めております。今後も国、県補助金と合併特例債を活用して早期完成を目指します。
狭あい道路整備事業【建築住宅指導課】	道路交通の安全性が向上し居住環境が改善することで、法令順守に対する住民への周知・啓発に一定の効果が期待できるため、今後も継続して取り組みます。
地方道路等整備事業【道路建設課】	現在、石岡地区5路線、八郷地区4路線を計画していますが、限られた予算の中で、事業計画に基づき効率的・効果的に事業を進めていきます。
道路維持経費【道路建設課】	補修要望について、補修箇所の現地測量及び復旧工法の精査により工事費の圧縮を行い、優先度の高い箇所から補修・改修を行っています。原材料支給については、支給前に全要望箇所の調査を行っているため、地区の実情に則した必要量の配分を行います。
狭あい道路待避所整備事業【道路建設課】	安全にすれ違いができるよう、必要性・緊急性の高い箇所から効率的に待避所整備を行います。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
合併支援道路整備延長	合併支援道路整備延長（6路線）	m	⁰ (H22)	8,231	5,299
地方道路等の整備延長	地方道路等整備事業による道路改良延長	m	6,332 (H22)	10,650	9,485
狭あい道路補助実施延長	狭あい道路整備事業により拡幅整備した道路延長	m	³⁶⁹ (H22)	300	314.54
狭あい道路待避所整備箇所数	狭あい道路待避所整備事業による整備箇所数	箇所	⁶ (H25)	34	14

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.70	4.28
平成27年度調査	2.60	4.06
平成28年度調査	2.64	4.08

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	O4計画的な土地利用の推進
具体的取り組み例	効率的な土地利用を誘導する取組

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	<p>現行の都市計画マスタープランに示された事業は概ね達成・実施されているほか、現在事業中のものもあります。 地籍調査事業においては、年次計画どおりに実施し完了しています。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>平成28年度に策定する都市計画マスタープランにおいて当市のまちづくりの目標を定めてまいります。また、効率的な土地利用に努めてまいります。</p>

2 主要事業の概要

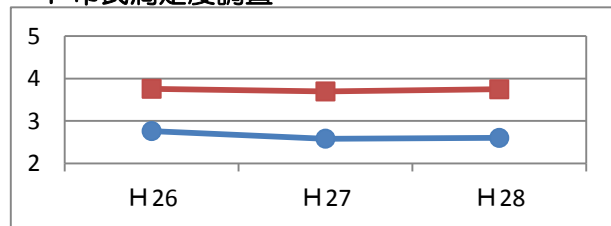
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
都市計画審議会経費【都市計画課】	平成27年度より進めている都市計画マスタープランの内容などについて継続審議を行い、平成28年度に策定を予定している。本市の都市計画における基本的な方針を長期的・総合的に検討し、安全・安心で快適なまちづくりを進めるための目標方針を定めていきます。
都市計画一般経費【都市計画課】	違法広告物の実態調査などを実施し、適正な設置の推進と土地利用を図り、良好な景観の形成に努めてまいります。
地籍調査事業【地籍調査課】	年次計画に基づき、着実に事業を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
市街化区域内土地利用効率	市街化区域内における都市的土地利用効率	%	78.7 (H22)	79	78.7
国土利用計画法の制度周知PR	国土法に基づく適正な取引促進のための市報等でのPR回数	回	1 (H22)	4	2
国土利用計画法に基づく事後届出の違反事案件数	提出期限後の届出等の違反事案件数	回	7 (H25)	2	7

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.76	3.76
平成27年度調査	2.58	3.70
平成28年度調査	2.60	3.75

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	05下水道の整備
具体的取り組み例	下水道の整備，合併浄化槽の補助

1 総括評価

B	評価コメント
	生活排水ベストプラン(平成27年12月策定)に基づき，下水道の効率的な整備を進めています。また，下水道施設長寿命化計画(平成24年5月策定)に基づき，計画的に施設機器類の老朽化対策(改築更新)を進めています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	今後も引き続き，各計画に基づき，下水道の効率的な整備及び計画的な老朽化対策を進めていきます。

2 主要事業の概要

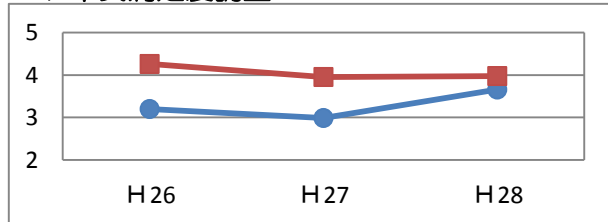
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
下水道会計（総括） 【下水道課】	現状を鑑み，整備計画を見直しを行い，管渠，マンホールポンプ等を含めた下水道施設全般の長寿命化計画の策定を行い，適正な施設の維持管理，長寿命化に取り組む必要があります。
農業集落排水事業会計（総括） 【下水道課】	未接続者及び宅地内工事業者に新設した補助金等の情報発信，未接続者への個別訪問等による接続依頼を継続し，接続向上に取り組んでいきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
生活排水処理総合普及率	処理区域人口／行政人口	%	75.7 (H22)	80	81.8
水洗化普及率（下水道）	水洗化済人口／処理区域人口	%	77.9 (H22)	82.2	84.7
水洗化普及率（農業集落排水）	水洗化済戸数／処理区域戸数	%	56.1 (H22)	65	65.4

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.20	4.26
平成27年度調査	2.99	3.95
平成28年度調査	3.66	3.98

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	06公園・緑地の整備
具体的取り組み例	公園長寿命化計画に基づく維持管理，公園里親の募集

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	平成26年度に比べ平成27，28年度の満足度調査が減となっています。これは平成26年度に遊具更新を実施したことにより利用者の満足度が上がったことによるものと思われます。現在は，工作物などの長寿命化を年次計画により実施しております。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	公園の長寿命化については年次スケジュールに基づき計画的に実施してまいります。里親やエンゼルパトロールについては引き続き募集を募り、公園の維持管理や防犯に努めてまいります。

2 主要事業の概要

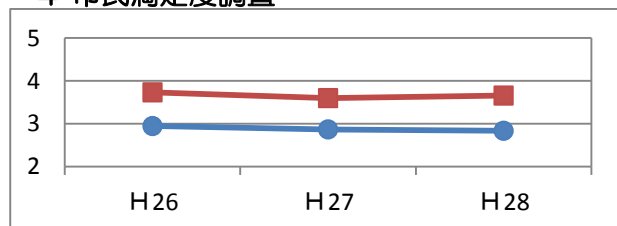
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
桜つつみ維持管理経費【まちづくり協働課】	エンゼルパトロール(無償ボランティアによる防犯パトロール)会員の登録者の増加を図ります。
公園維持管理経費【都市計画課】	緊急性の高い公園施設から順次，長寿命化工事を行っております。策定計画による年次スケジュールにおいて平成26年度からの10箇年で工事を実施して参ります。安心して利用できる公園を目指し，日常的に維持管理を行ってまいります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
公園長寿命化計画	都市公園改修施設箇所	箇所	0 (H24)	26	13
公園里親制度加入団体数	公園里親制度への加入団体数	団体	7 (H22)	10	8

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.95	3.73
平成27年度調査	2.87	3.60
平成28年度調査	2.84	3.66

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	O7住宅の整備
具体的取り組み例	市営住宅の整備・改修，木造住宅耐震改修の促進

1 総括評価

B	評価コメント
	<p>市内の市営住宅は平成21年度に策定した長寿命化計画に基づき、現在まで計画的な改善事業が進められています。</p> <p>また、高齢者世帯や子育て世帯等、配慮すべき世帯の住居の安定のため、交通利便性の高い石岡駅周辺の中心市街地に存する民間住宅を活用した家賃減額補助事業は、現在までに対象物件入居率は6～7割前後で推移しています。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>市民が快適に安心して暮らせるためには、住宅の計画的な長寿命化や、民間住宅の効率的な活用等を通じて、暮らしやすい環境を整備することが重要であることから、今後も引き続き計画的な住宅施策を推進します。</p>

2 主要事業の概要

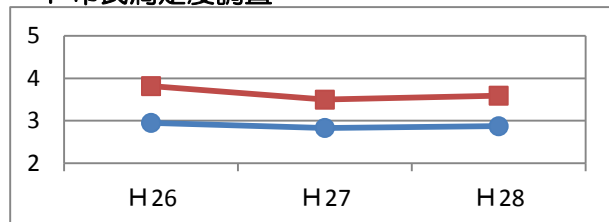
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
市営住宅長寿命化改修事業【建築住宅指導課】	長寿命化改修計画に基づき順次、改修工事を実施します。
木の住まい助成事業【建築住宅指導課】	定住人口の増加及び地域経済の活性化に一定の効果を期待できる事業であることから、事業継続が望ましいと考えます。
賃貸住宅ストック事業【建築住宅指導課】	事業拡大を図り平成27年度から30戸を目標に住居の安定により中心市街地の活性化を推進します。
住まいづくり推進事業【建築住宅指導課】	市外住民に対する事業であり、主に若年者の定住人口増加に寄与する事業と考えられるため、事業継続が望ましいと考えられます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
市営住宅長寿命化改修事業	改修棟数	棟	7 (H23)	24	18
ストック活用賃貸住宅入居世帯	制度活用により認定住宅に入居した世帯数	世帯	14 (H23)	30	19

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.95	3.82
平成27年度調査	2.83	3.50
平成28年度調査	2.87	3.59

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	08地域に調和した景観の整備
具体的取り組み例	景観条例の適正な運用による良好な景観の保全，無秩序な宅地化や違反建築の防止

1 総括評価

B	評価コメント
	開発許可案件における完了検査率及び建築パトロールの実施件数は、いずれも現状で目標値を上回っていることから、無秩序な宅地化や違反建築の防止に高い成果を得ており、市内における適正な土地利用ひいては秩序ある良好な景観の保全に一定の成果を得ているといえます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	目標に対する高い達成水準を維持するためには、適切な行政指導と地道な啓発活動を必要とすることから、引き続き計画的な事業実施に努めます。

2 主要事業の概要

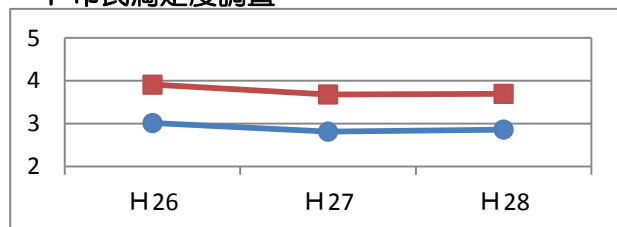
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
宅地開発指導経費【建築住宅指導課】	現状の完了検査率は高い水準にあり、今後も引き続き、完了検査受検の啓発リーフレットの作成・配布や、電話・文書等による催促、現地パトロール等を実施することにより、目標に対する達成水準の維持に努めます。
建築指導事業【建築住宅指導課】	違法な建築行為の防止に一定の成果を得ており、上位目標の達成においても有効な事業であると考えられることから、引き続き適正な実施に努めます。
都市計画一般経費【都市計画課】	違法広告物の実態調査などを実施し、適正な設置の推進と土地利用を図り、良好な景観の形成に努めてまいります。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
建築パトロール	パトロール実施件数	件	74 (H24)	60	83
完了検査率	開発許可件数に対する完了検査の受検数	%	84 (H24)	85	87.5

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.01	3.91
平成27年度調査	2.81	3.68
平成28年度調査	2.86	3.69